

「まちづくり懇談会」意見一覧(富熊コミュニティセンター)

番号	意見趣旨	回答趣旨
1	コミュニティの窓口は、行政で1本化しているのか？また、日程・場所など会議の受入れ調整はできているのか？	コミュニティの窓口は、生活環境部生活課である。コミュニティへの関連文書の発送は、毎月1日と15日と決めているが、今後は生活課が中心となって調整し迷惑をかけないようにする。
2	丸亀市役所近辺の会場で会議がある場合、駐車場が少なくて困る。乗り合わせてという案内文書になっているが、飯山・綾歌の駐車場のあるところで会場設定できないか？	コミュニティの会長会は、ほとんど丸亀市で開催しているが、今後は綾歌・飯山での会場設定も視野に入れて検討していく。
3	コミュニティは会や行事が多いので調整いただきたい。また、コミュニティのモデルはできているのか？	コミュニティの調整については、文書発送の場合、1日と15日に発送日を決め、内容も生活課で把握しているが、不十分だったと認識している。モデルについては、コミュニティそれぞれに地域の特性があり、様々な活動を行っているので、モデルというのではない。独自性を持った内容で活動いただきたい。
4	コミュニティは地域で特徴を持ってということだが、それぞれ仕事があり、活動そのものがすたってしまうのではないかと思う。	
5	国道・県道は比較的きれいだが、民家から離れた農道には、ごみが散乱している。これらの対策はどう考えている？	不法投棄については、パトロールなどを行っている。また、注意を促す看板等もあるので、申し出ていただきたい。
6	旧丸亀市の場合、缶は圧縮されて処理しているが、綾歌町は圧縮機がないため、そのまま出している。処理方法によって単価が違うので圧縮して引き取って欲しいが、対処方法を教えていただきたい。	圧縮してもしなくても相場は変わらない。
7	車で走っていると、ごみが目立つが指導しているのか？	ごみを正しく出していただくよう指導している。
8	平成15年以前の市民一人当たりの市職員の数は、他と比較して多い。今後、どの程度まで削減するのか？また、職員の削減により経費はどの程度圧縮できるのか？	職員数は、今後10年間で1,203人を950人くらいにしているが、これでは財政が破綻する状況なので、現在5年後・10年後の案を検討しているところである。決まれば公表する。
9	一人一人の職員の資質向上と能力アップの計画は、どのように考えているのか？	庁内に窓口サービス改善会議を設置し、接遇マニュアルも作り市民対応の向上に努めているほか、法令研修などさまざまな研修を行い資質向上に努めている。
10	現時点の滞納額と、その対応策示していただきたい。	細かな数字は承知していないが、税の徴収については、6名の徴収担当と2名の徴収委託員で行っている。
11	目標管理というのは、市税一つをとっても滞納額をどう削減していくか具体的な対策が必要で、そのための知識・技術を職員に身につけさせる必要がある。市は、そのあたりが生ぬるい。また、市民の意見聴取も、このような会を持たずとも、紙1枚で意見を書いてもらえば、十分市民の意見は吸い上げられる。	
12	自治基本条例は、資料によると憲法以上の責任と義務を市民に押し付けているようである。資料にある「責務」は「役割」であって、市と市民の役割分担を規定していこうとするものではないか？	条例を定めるときに、位置づけをはっきりさせてまちづくりを進めていきたいということである。
13	子どもは、より良い環境で健全に育つもの。社会教育の推進、地域活動の推進が必要と考えるが、新市での子どもたちの育成はどのように考えているのか？	子どもたちが健全に活動できる環境づくりを基本に考えている。家庭・学校・地域の連携のもと取り組んでいかなければならない問題だと認識している。
14	最近、子どもたちの成長を阻害する事故や犯罪が多い。市として社会環境の浄化、非行防止対策、被害防止対策などはどのように考えているか？	白ポストの配置見直しや赤旗の設置、SOSの設置推進などを行っている。

15	市の所有する建物の管理について、民間に委託するということも聞いているが、どのような対応をしているのか？	法律改正により、市の公の施設の管理を民間に委託できるようになった。これを指定管理者制度というが、現在、市が直営すべき施設と民間活用をしていく施設に分ける作業をしている。
16	公の施設を使って、出荷できない桃を缶詰やゼリーにしている。民間委託になると施設使用料も高くなるのではと心配している。	市が直営するか、民間に委託するかは、9月議会で審議する予定である。
17	計画をつくる際には、最初に現状を把握する必要がある。組織の現状を把握し分析して、各部署の役割分担をして組織を動かしていくべき。	まちづくりを進めていくうえで、当然に現状と課題の分析は必要である。組織体制についても、現状を把握し、将来の方向性を見出していく。
18	未修園児から思春期の難しい時期にある子どもを持つ母親が、グループミッションのような形で悩みなどを話し合える場があれば、子どもを安心して産み育てられる環境づくりの土台になる。	
19	生涯学習センターでの活動に参加しているが、土曜日は車も多くひまわりセンターの駐車場を利用している。活動が午後9時半までであるが、駐車場は午後9時まで。できれば活動時間まで駐車時間を伸ばしていただきたい。	
20	美術館で月1回絵を描いたり粘土で遊んだりしている。非常に良い活動だと思うので続けていただきたい。	
21	今の無料のごみ袋は薄くて破れ易い。指定ごみ袋は、強いのか？	可燃・不燃両方に使えるものであり、厚めのものになっている。
22	旧綾歌町では、不燃ごみに名前を書くようになっていたが、これからは名前は必要ないのか？	必要ない。
23	飯山町では、洗っても清潔にならないもの、非衛生的なものは可燃ごみで処理している。綾歌町では、すべてきれいに洗って不燃ごみとして処理するか、あるいは再生ごみとして出すようになっている。行政として統一して欲しい。	現在は、合併前の1市2町そのままの方法を採用しているが、今後、早い段階で統一できるように調整する。